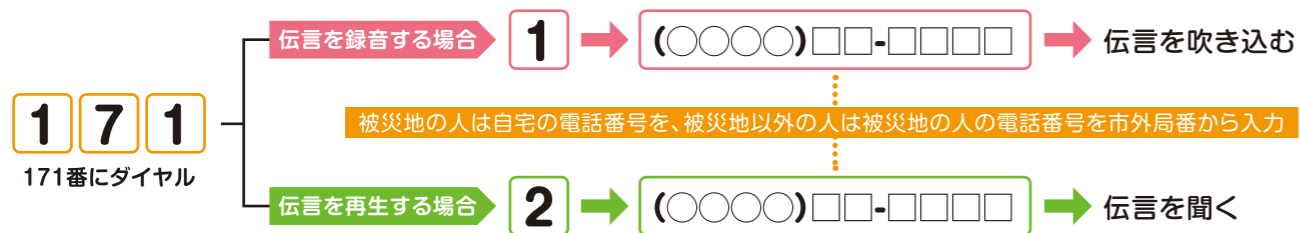


わが家の防災メモ

避難所		
家族の名前	会社・学校の連絡先	電話番号・メールアドレス

災害用伝言ダイヤル 災害用伝言ダイヤル171は、大規模な災害が発生した時の「声の伝言板」です。伝言の録音・再生は、一般電話、公衆電話、携帯電話・PHS（一部通信事業者を除く）から行えます。

安否確認方法



柏原市 総合防災マップ 検索案内

その他の災害防災マップ・避難所等については、「柏原市総合防災マップ」をご確認ください。

柏原市 耐震補助制度のご案内

柏原市には、耐震補助制度があります。補助制度の内容はHPをご覧ください。

お問い合わせ先 **柏原市都市開発課開発指導係**

〒582-8555 大阪府柏原市安堂町1番55号 電話：072-972-1501（代表）



避難の時の心得

避難のときはこんな服装で

- ヘルメット（防災ずきん）をかぶる。
- 非常用持出品は、両手がふさがらないようにリュックサックに入れて背負う。
- 長袖、長ズボンを着用（燃えにくい木綿製品がよい）する。
- 軍手をはめる。靴は底の厚い、はき慣れたものを。

避難のときの注意点

- 避難の前に、もう一度火の元、ガスの元栓、電気ブレーカーを確認しましょう。
- 荷物は最小限で。
- 塀や自動販売機など倒れやすいものには近づかない。また、垂れ下がった電線などは危険なので、そばに寄らないようにしましょう。
- 子ども、障害者、高齢者等の避難は、地域の人々で協力しましょう。

日頃の備え

地震に備えて、日頃から非常用持出品を用意することも重要です！

- | | | |
|----------------------------------|---|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 懐中電灯 | <input type="checkbox"/> お金、預金通帳 | <input type="checkbox"/> 紙コップと器 |
| <input type="checkbox"/> ラジオ | <input type="checkbox"/> 運転免許証、印鑑、保険証など | <input type="checkbox"/> 下着、着替え |
| <input type="checkbox"/> ホイッスル | <input type="checkbox"/> 携帯電話と充電器 | <input type="checkbox"/> 生理用品 |
| <input type="checkbox"/> 常備薬 | <input type="checkbox"/> メガネ、コンタクトレンズ | <input type="checkbox"/> 毛布 |
| <input type="checkbox"/> 飲料水、非常食 | <input type="checkbox"/> キッチン用ラップ | |
| <input type="checkbox"/> ポリタンク | <input type="checkbox"/> 調理器具 | |
| <input type="checkbox"/> 寝袋 | <input type="checkbox"/> 工具 | |
| <input type="checkbox"/> 食器類 | <input type="checkbox"/> ガスコンロ | |

備蓄品は約1週間ほどを想定して、必要なものを備えておきましょう。
※飲料水は、1人1日3リットルが目安です。

地震防災



柏原市



いざという時の備えに

マップ

Hazard Map



このマップの使い方

本マップは、大地震が発生した場合に、人命や財産を守るために、事前に市民のみなさまに地震の揺れや建物の被害に関する情報をお知らせするものです。日頃から地震に対する備えや心構えをしていただくために、お役立てください。

揺れやすさマップ

Hazard Map

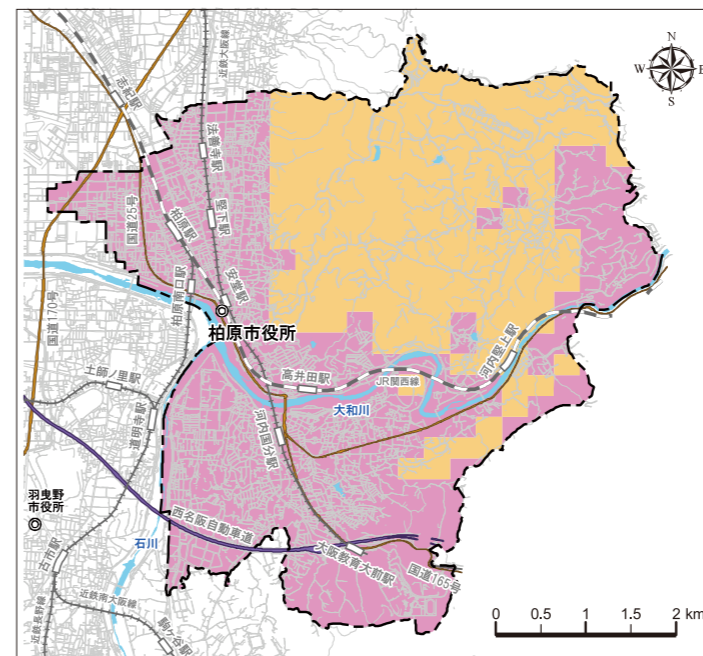
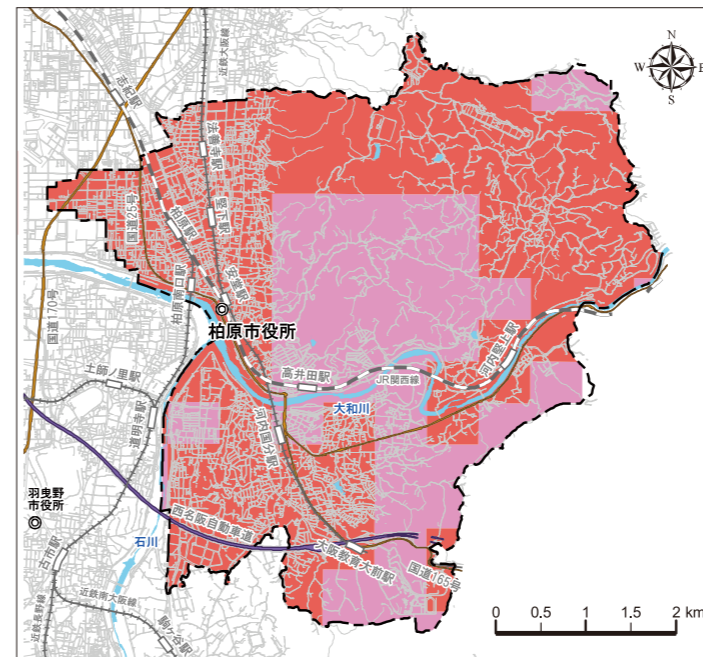
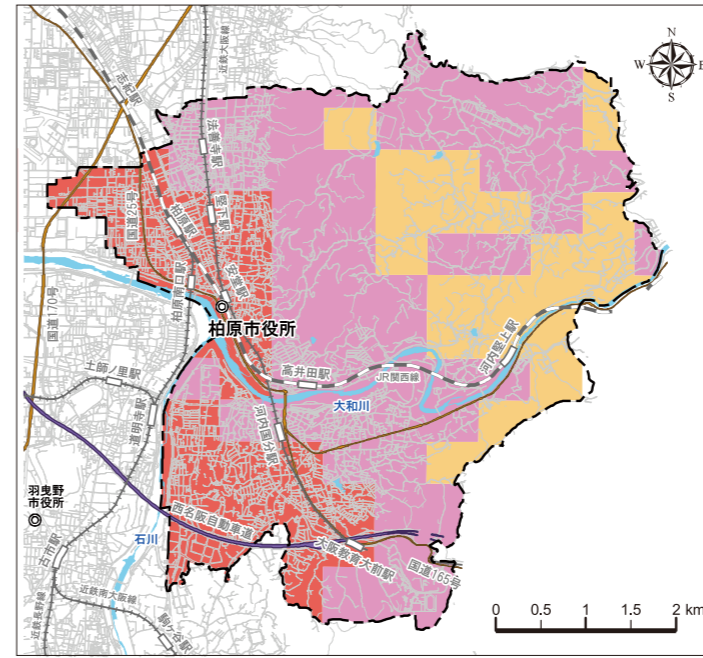
揺れやすさマップは、大阪府で検討された地震被害想定のうち、本市に影響を与えると考えられる上町断層帯、生駒断層帯、及び南海トラフの活動による地震について、柏原市域においてどの程度揺れるかを震度分布図として表したものです。実際の地震発生時には、震源の位置、規模、自然条件などにより揺れ方が変わります。表示されたとおりの状況が発生することを示すものではありません。



震度階級のイメージ

震度階級	震度7	震度6強	震度6弱	震度5強	震度5弱	震度4
人の体感・行動	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされ、飛ばされることもある。	立っていることが困難になる。	立っていることが困難になる。	大半の人が、歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。	ほとんどの人が、揺れを感じ、驚く。
屋内の状況	固定していない家具のほとんどが倒れ、飛びこえることもある。	固定していない家具は、倒れるものが多い。	固定していない家具の大半が移動し、倒れるものがある。	テレビや固定していない家具が倒れることがある。	未固定の家具が移動し、不安定なものも倒れることがある。	座りの悪い置物が倒れることがある。
屋外の状況	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建築物が多くなる。	補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。	補強されていないブロック塀が崩れることがある。	まれに窓ガラスが割れる。道路に被害が生じることがある。	電線が大きく揺れ、運転中に揺れに気付く人がいる。
木造建築物(住宅)の状況	耐震性が低い	傾くもの、倒れるものがさらに多くなる。	壁に大きなひび割れが入るものや、傾くもの、倒れるものが多い。	壁に大きなひび割れが入り、瓦が落下し、全体が傾くことがある。倒れるものもある。	壁にひび割れがみられることがある。	壁に軽微なひび割れがみられることがある。
	耐震性が高い	壁のひび割れが多くなる。まれに傾くものがある。	壁にひび割れがみられることがある。	壁に軽微なひび割れがみられることがある。	---	---
鉄筋コンクリート造建築物の状況	耐震性が低い	壁、はり、柱などに斜めやX状のひび割れが多くなる。1階又は中間階の柱が崩れ、倒れるものが多い。	壁、はり、柱などに斜めやX状のひび割れが多くなる。1階又は中間階の柱が崩れ、倒れるものがある。	壁、はり、柱などにひび割れが多くなる。	壁、はり、柱などにひび割れが入ることがある。	---
	耐震性が高い	壁、はり、柱などにひび割れがさらに多くなる。1階又は中間階が変形し、まれに傾くものがある。	壁、はり、柱などにひび割れが多くなる。	壁、はり、柱などにひび割れが入ることがある。	---	---

注) 震度はそれぞれの地震で想定される最大の震度を表示しています。



上町断層帯

想定地震	上町断層帯地震 ^{注1)}	
地震規模(マグニチュード)	7.5~7.8	
震度(市域)	5強~6強	
建物被害	全壊	2,369棟
	半壊	3,213棟
人的被害	死者	13人
	負傷者	910人
避難所生活者数	5,216人	

注1) 上町断層帯地震は、上町断層帯地震Bの被害想定結果を示しています。上町断層帯地震Aは、大阪府北中部を中心に被害が発生し、上町断層帯地震Bは大阪府南部を中心に被害が発生します。上町断層帯地震Bのほうが本市域ではより大きい被害が発生すると予測されています。

出典:「大阪府自然災害総合防災対策検討(地震被害想定)報告書」
<http://www.pref.osaka.lg.jp/kikikanri/higaisoutei/index.html>

生駒断層帯

想定地震	生駒断層帯地震	
地震規模(マグニチュード)	7.3~7.7	
震度(市域)	6弱~6強	
建物被害	全壊	5,211棟
	半壊	4,498棟
人的被害	死者	178人
	負傷者	1,232人
避難所生活者数	10,502人	

出典:「大阪府自然災害総合防災対策検討(地震被害想定)報告書」
<http://www.pref.osaka.lg.jp/kikikanri/higaisoutei/index.html>

南海トラフ

想定地震	南海トラフ巨大地震 ^{注2)}	
地震規模(マグニチュード)	9.0~9.1	
震度(市域)	5強~6弱	
建物被害	全壊	269棟
	半壊	2,088棟
人的被害	死者	2人
	負傷者	165人
避難所生活者数	4,426人	

注2) 南海トラフ巨大地震の人的被害は超過確率1%風速の場合による算出結果。南海トラフ巨大地震の避難所生活者数は1週間後の算出結果。

出典:大阪府南海トラフ巨大地震災害対策等検討部会
<http://www.pref.osaka.lg.jp/kikikanri/bukai/>

震度分布図

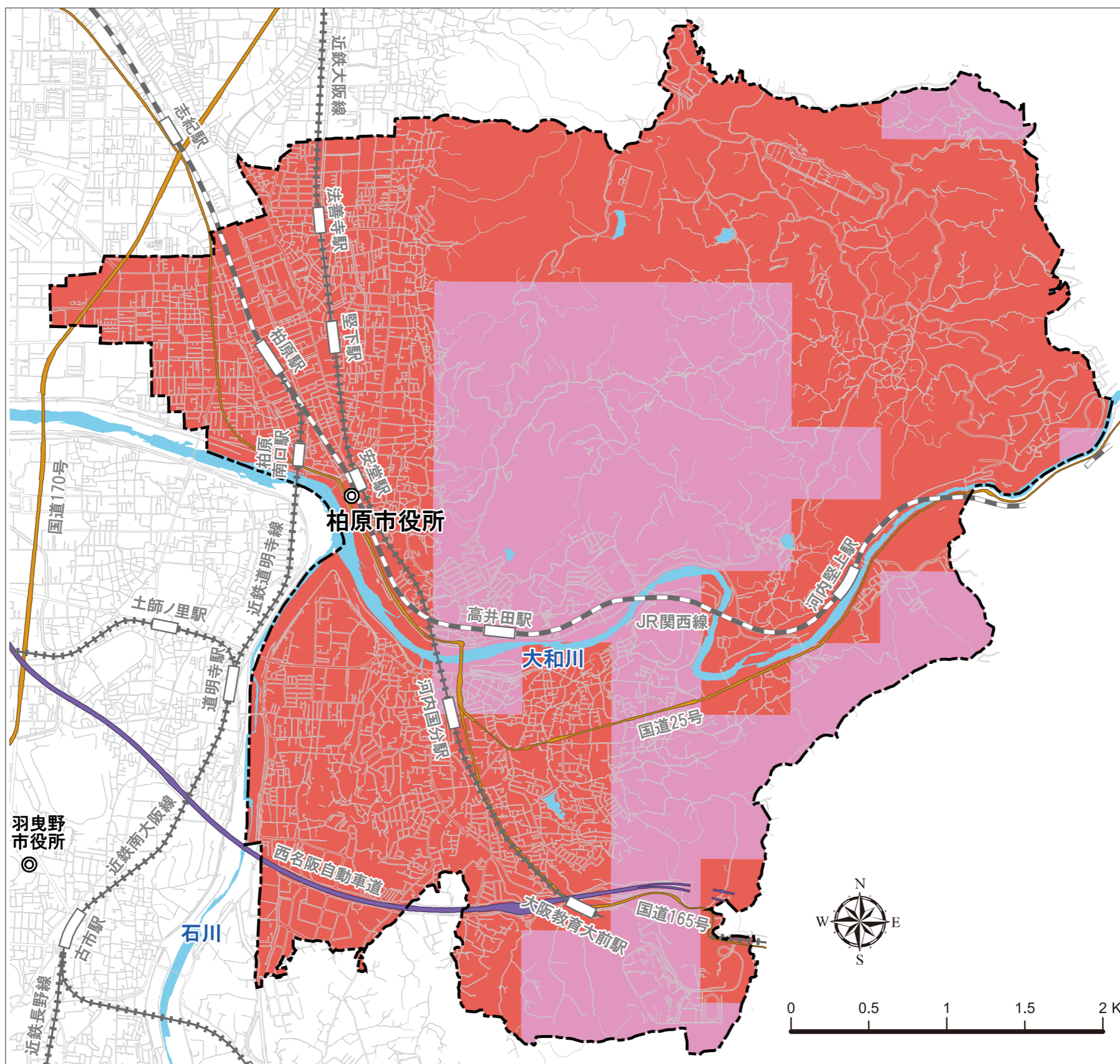
震度階級

震度7	震度6強	震度6弱	震度5強	震度5弱	震度4

震度分布図は、揺れやすさマップで想定した3つの地震の地震動の予想結果を重ね合わせて最大となる震度をもとに作成しています。実際の地震発生時には、震源の位置、規模、自然条件などにより揺れ方が変わります。表示されたとおりの状況が発生することを示すものではありません。

震度とマグニチュードの違い

震度は、ある場所での地震による揺れの強さをあらわし、マグニチュードは地震そのものの大きさ(規模)をあらわします。これは電球の明るさと周りの明るさとの関係によく似ています。電球の明るさをあらわす値がマグニチュード、電球から離れたある場所の明るさが震度に相当します。つまりマグニチュードが大きくても(電球が明るくても)震源から遠いところでは震度は小さく(暗く)なります。

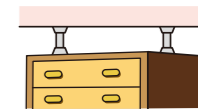


家の中の安全対策をしましょう

大地震が発生したときには、「家具は必ず倒れるもの」と考えて、家具の向きや配置を工夫したり、事前に次のような転倒防止対策をとっておくことも重要です。

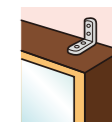
タンス

床側をストッパーで固定し、天井側はポール式器具で固定する。



食器棚

L字型金具やワイヤーなどで壁に固定し、開き戸には開かないように留め金をつけ、ガラスには飛散防止フィルムを貼る。

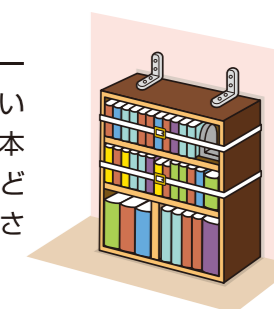


飛散防止フィルム



本棚

L字型金具やワイヤーなどで壁に固定し、重い本は下の段におき、本棚にひもやベルトなどを付け、本が飛び出さないようにする。



テレビ

粘着マットを敷いて転倒を防ぐとともに、機器の裏側をワイヤーなどで壁やテレビボードなどに固定する。

冷蔵庫

裏側をワイヤーなどで壁に固定する。

窓ガラス

飛散防止フィルムを貼ったり、強化ガラスに替える。カーテンを閉めておくことでも室内への飛散防止に効果がある。



地域の危険度マップ

Hazard Map

地域の危険度							
危険度8	危険度7	危険度6	危険度5	危険度4	危険度3	危険度2	危険度1
50%~	40%~50%	30%~40%	20%~30%	10%~20%	5%~10%	1%~5%	1%未満

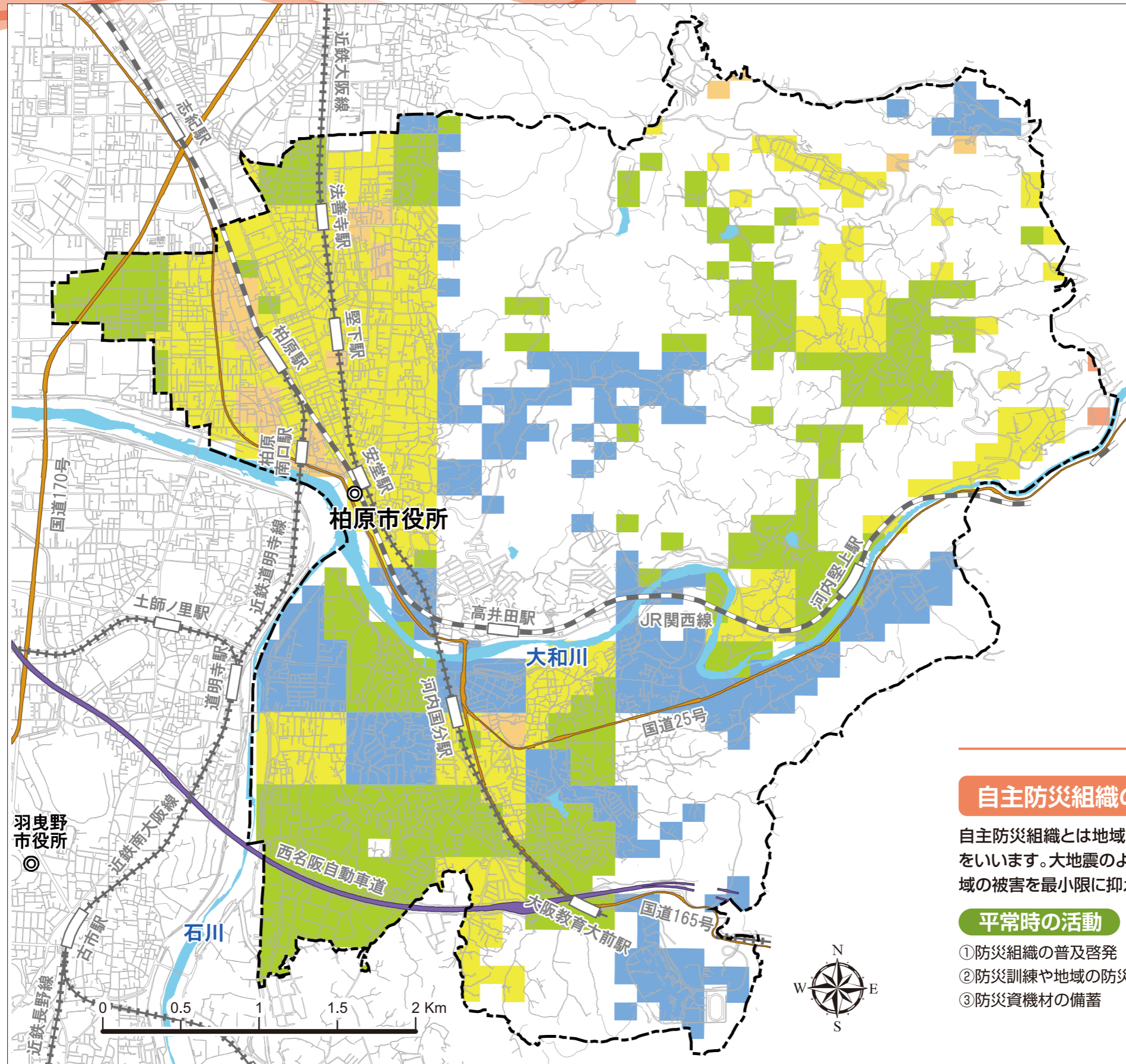
Hazard Map 危険度分布図

危険度分布図は、3つの地震を重ね合わせた震度分布図から、「地震による揺れによって発生する建築物被害の分布」を表現したものです。



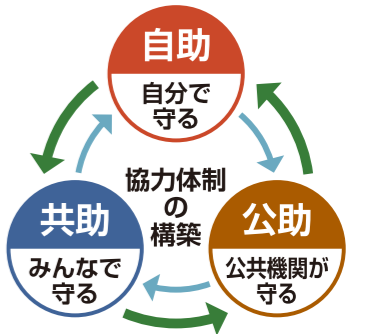
●危険度の割合(%)は建築物の全壊率

注)全壊率は、全壊する建築物以外には全く被害がないことを表しているのではなく、半壊~無被害であることを示しています。白色の1%未満は建築物がない地域を含みます。



自助・共助・公助

災害に対する予防・応急復旧、復旧・復興には、住民の皆様と行政機関等がそれぞれ役割を果たし、協力・連携して対策にあたるのが重要です。特に被害を最小限に抑えるためには「自助・共助・公助」の効率的な組み合わせが重要です。



自助 「自分の身は自分で守る」

飲料水、食料等の備蓄、防災知識、技術の修得、危険回避のための自主防災など、普段からの災害に対する準備をします。

共助 「自分たちのまちは自分たちで守る」

自主防災組織の結成、活動の促進、訓練への参加、相互協力体制の推進を図ります。

公助

行政機関等(国、大阪府、柏原市、消防、警察、自衛隊など)の活動です。各機関とも災害の発生からできるだけ早く応急対策活動にあてられるように備えています。

自主防災組織の必要性

自主防災組織とは地域住民が連携し、自主的に防災活動を行う組織のことをいいます。大地震のような大規模な災害時に備え、地域住民が連携して地域の被害を最小限に抑えることが自主防災組織の役割です。

平常時の活動

- ① 防災組織の普及啓発
- ② 防災訓練や地域の防災安全点検の実施
- ③ 防災資機材の備蓄

災害時の活動

- ① 住民の避難の呼びかけ・誘導
- ② 負傷者の救出・救護
- ③ 初期消火活動
- ④ 避難所の運営